

豊山ゼミ

年間活動報告書



目次

1. 豊山ゼミナールの紹介	3
2. 公益社団法人東大阪市シルバー人材センターの紹介	4
3. 平成 24 年度活動内容	5
4. 各チームの活動内容	7
1) H チーム	
2) I チーム	
3) J チーム	
5. 資料 (一年間のポスター、ヒアリング調査テープおこし etc)	9
6. メンバーの紹介	40

豊山ゼミナール平成24年度活動報告書

1. 豊山ゼミナールの紹介

豊山ゼミはフィールドワークゼミに分類されます。フィールドワークとは、講義によって得られる教養と専門知識を、フィールド(実社会の現場)において実際に活用させる実践教育です。

私たち豊山ゼミではフィールドワークのクライアントとして公益社団法人東大阪市シルバー人材センターを選び、「働く意思と能力のある高齢者に仕事をあっせんする」というセンターの活動に協力しています。

シルバー人材センターとは定年退職をされた高齢者の方々が、まだ働きたい意志を持つ場合、このシルバー人材センターに入会をし、仕事を提供してもらうための場所です。豊山ゼミでは、センターでの問題点の改善や、入会説明会の補助をしています。

また課題をスムーズにこなせるよう、A～Jのチームに分けて作業をしています。(A～Cチームは、平成24年度にご卒業されたため、現在は活動しておりません。) 活動内容は、3回生のチーム、Eチームはセンターの女性会員獲得、FとGチームは合同でシルバーの広報活動をしています。2回生のチーム、Hチームはセンターの入会説明会の改善、Iチームは入会のしおりの改善、Jチームはセンターの会報『燻』、HPの編集、をしています。このように各チームそれぞれ役割を担い、「人を説得する為には多くの手間をかけなければならない」、かつ「手間は成果がでるまでかけなければいけない」というのを今の豊山ゼミのスローガンに掲げて活動をしています。また、大学の御厨祭などでは、センター会員の方々と一緒にお店をするなどして、関わりを持っています。

2. 公益社団法人東大阪市シルバー人材センターの紹介

高齢化社会が進むにつれ、定年などで退職後、臨時的、短期的な就業の機会を得たいという、健康で働く意欲のある高齢者が多くなってきています。そのようななかでシルバー人材センターは定年退職者などの高齢者に「臨時的かつ短期的又は、その他の軽易な就業」を提供しています。高齢者の自らの生きがいや充実や豊富な経験を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的としています。また、「独自事業」として学習教室やカルチャー教室の運営、農業、工芸品の製造販売、食堂の運営等を行っているセンターもあります。

センターは企業・個人から高齢者にふさわしい仕事を引き受け、会員の皆さんに斡旋しますが、そのときには入会の際登録された経験や希望、又会員の都合を聞いたうえで仕事をお願いします。仕事上の責任はセンターが負い、仕事の相談・受注・契約から集金、会員の皆さんへの配分金の支払いまで、センターが窓口になっています。

ハローワークの違いとしては、センターによって仕事を斡旋された就業者と発注者の間には雇用関係がなく、また斡旋される仕事も常用的な仕事ではないというところにあります。

さらに、センターの会員には、就業日数や収入の保証もありません。

3. 平成 24 年度活動内容

G は 2012 年度新 3 回生のチーム(追加)、H・I・J は 2012 年度新 2 回生のチーム			
開催月	開催日	活動内容	担当チーム
4 月	10 日(火)	入会説明会・講習会の補助	特別編成
	17 日(火)	東大阪市 SC に挨拶	2 回生、3 回生全員
	24 日(火)	入会説明会・講習会の補助	G
5 月	8 日(火)	入会説明会・講習会の補助	H
	13 日(日)	東大阪市民ふれあい祭り参加	F 中心に編成
	22 日(火)	入会説明会・講習会の補助	I
6 月	7 日(木)	豊中市 SC ヒアリング	E
	12 日(火)	入会説明会・講習会の補助	J
	14 日(木)	東大阪市雇用開発センターヒアリング	G
	26 日(火)	入会説明会・講習会の補助	E
7 月	5 日(木)	FW 中間報告会(東大阪市 SC)	2 回生、3 回生全員
	10 日(火)	入会説明会・講習会の補助	F
	12 日(木)	箕面市 SC ヒアリング	I
	12 日(木)	会報『燦』編集会議出席	J
	8 日(火)	会報『燦』編集会議出席	J
	24 日(火)	入会説明会・講習会の補助	G
8 月	28 日(火)	入会説明会・講習会の補助	H
	30 日(木)	会報『燦』編集会議出席	J
9 月	11 日(火)	入会説明会・講習会の補助	I
	25 日(火)	入会説明会・講習会の補助	J
10 月	9 日(火)	入会説明会・講習会の補助	E
	22 日(月)	HP・会報『燦』編集会議出席	I&J
	23 日(火)	入会説明会・講習会の補助	F
	26 日(金)	御厨祭で出店・SC の広報	2 回生、3 回生全員、4 回生有志
	27 日(土)	御厨祭で出店・SC の広報	2 回生、3 回生全員、4 回生有志
		FW 中間報告会(学内)	2 回生、3 回生
	28 日(日)	御厨祭で出店・SC の広報	2 回生、3 回生全員、4 回生有志
11 月	13 日(火)	入会説明会・講習会の補助	G

	14日(水)	HP・会報『燻』編集会議出席	I&J
	20日(火)	東大阪市 SC の関係者が来学し、 HP のレイアウト案報告	2 回生
	20日(火)	FW 合同説明会	2 回生、3 回生
	22日(木)	FW 合同説明会	2 回生、3 回生
	30日(金)	HP、会報『燻』編集会議出席	I&J
	27日(火)	入会説明会・講習会の補助	H
12月	11日(火)	入会説明会・講習会の補助	I
	13日(木)	FW 最終報告会(東大阪市 SC)	2 回生、3 回生全員
1月	8日(火)	入会説明会・講習会の補助	J
	18日(金)	HP レイアウト最終案報告 (東大阪市 SC)	I&J
	22日(火)	入会説明会・講習会の補助	E
2月	9日(土)	FW 最終報告会(学内)	2 回生、3 回生全員
	12日(火)	入会説明会・講習会の補助	F
	26日(火)	入会説明会・講習会の補助	G
3月	12日(火)	入会説明会・講習会の補助	H
	26日(火)	入会説明会・講習会の補助	I

4. 各チームの活動内容

・H チーム活動内容

H チームでは入会説明会で参加者の方に書いていただいたアンケートを集計し、またその結果を元に入会説明会の改善や参加者の方がどういった情報を求めているかなどを分析しています。その分析からわかったことをまとめてグラフなどのわかりやすい形にしてセンターの職員の方へ提供したり説明会の改善点の提言をさせています。アンケートのデータは先輩の代から受け継いで作成しており、2013年1月現在で約2年間分のデータを作ることが出来ました。まだまだ少ないデータですが、こういったデータを記録し続けることで参加者の求めていることの傾向などを発見することができ、センターへ提供するデータも充実してくると思うので、継続していくつもりです。

現在の課題としては、高齢者雇用安定法の改正による変化があります。国民年金に加入した方は60歳まで保険料を納め、将来的に年金の支給は65歳からになります。60歳定年を前提にして考えますと、定年退職後すぐに年金はもらえないことになります。そこで高齢者雇用安定法の改正によって政府は、企業が希望した社員を2025年度に65歳まで雇うことを義務づけました。しばらくは移行期間であり、2013年度（平成25年度）から年金の（報酬比例部分の）支給は61歳になり、その後引き上げられていき2025年度には65歳になります。それにもなって継続雇用年齢も65歳まで引き上げられることになります。

これまで企業の方から求められていた若い高齢者、すなわち60～65歳の人たちがシルバーの会員となることは、今後少なくなっていくと思います。シルバー人材センターは全体としてこの問題に真剣に取り組んでいると思いますが、私たちも微力ではありますが、この問題を今後考えていきたいと思っています。

・I チーム活動内容

私たちIチームでは、説明会にきてくださった方によりわかりやすく、簡潔にセンターについて理解していただくことを目標にしおりの改善を行いました。

変更点としてまず、文字数の削減と表現の改善を行いました。従来からあったしおりの印象として、文字数が多く、専門的な知識を要する箇所があり、少し難しかったので、文字を少なくし重要なところは太字にするなど工夫しました。この作業をするにあたり、しおりの内容を理解しようと自分たちなりにしおりの翻訳を行いました。わかりにくかった箇所をわかりやすい言葉に置き換え、伝わりやすい表現を用いて文を作ることを心掛けました。

次に項目数の変更や配置の変更を行いました。やはり、センターのことについてより深

く知っていただくためにはしおりを読んでいただかなくてはなりません。読んでいただくうえで読みやすく、また理解していただくためには、文章的また内容的なつながりも重要だと考えたうえで、変更を行いました。

最後に挿絵の挿入を行いました。従来しおりには基本的には文字しかなく、堅い印象を持つような内容であったので、読み手側に手軽に読んでいただけるように挿絵の挿入を行いました。

この一年間で自分たちなりに努力を重ね、試作品ではありますがしおりを完成させることができました。まだまだ完成形とはいきませんが少しずつ完成に近づけようと頑張っていきます。

・Jチーム活動内容

私たちJチームは、ホームページや会報『燻』の編集のお手伝いを主に担当しています。東大阪市シルバー人材センターのホームページを現在の状態よりも、ご年配の方々だけでなく、仕事を依頼する方々にも見やすく、わかりやすいホームページに改善することを目的としています。

チームのメンバーが大阪府の他の市のシルバー人材センター32ヶ所を調べ、取り入れる箇所が多かった五つの市のシルバー人材センターをあげました。そこからさらに、豊山ゼミの二回生全員に見てもらい、私たちの作成するHPについて参考とするシルバー人材センターを議論して決定しました。そして、五つの市のセンターのホームページをもとに、大まかなレイアウト案を決定しました。

次にホームページ編集の分担をIチームとJチーム内で担当を決めて、各自改善案を作成してゼミで発表し、修正を加えていきました。そして、毎回変更箇所の意見を出し合いそこからさらに訂正をし直し、またゼミで発表して、を繰り返し全員が納得するまで話し合いホームページの中身の下地を完成させました。最終報告会から本格的にホームページを作り初め、現在センターの方々を細かい訂正を行い、ホームページ完成に向け頑張っているところです。

5. 資料 (一年間のポスター、ヒアリング調査テープおこし etc)

箕面シルバー人材センターヒアリング調査

豊山先生 (以下豊山)

白川総務課長 (以下白川)

豊山：よろしくおねがいします。

白川：よろしくお願ひします。

豊山：1時間から1時間半くらいで。

白川：大体それくらいで大丈夫です。ではおかけください。しっかり覚えて帰ってや。

豊山：質問事項はこの前渡してるもので。

白川：頂いた、はい。

豊山：すいません、ほんとはHPのことだったんですけど。

白川：そうですよね、はい。

豊山：いろいろ調べてみると、非常に手広くやっているなど。

白川：これ追加の資料なんですけど。質問頂いた内容はだいたいこれで、数値的なものはこれを見てもらったほうがいいのかなとは思いますが。

豊山：これ一応、文部科学省の教育GPは終わってはいるんですけど継続ではやってまして。

白川：わかりました、はい。うちも東大阪さんの様子も聞かしてもらってもいいのかなと思っております。

豊山：そうですね、はい。質問持ってきた？ それでは今から1時間ぐらいお話聞かせて頂ければと思うんですが。まず、ヒアリングの目的なんですけど、ここに書いてありますけども、シルバー人材センターの活動について知る。特にHPの運営について知りたいということですね。シルバーがどういった活動をしている、どういったところで就業をしているかについて具体的に知りたいというのが入会説明会に来る方々から結構あるんですね。東大阪市だけではなくてですね。いろんなところ回っていますけども、そこで聞くんですね。イメージができないと。ということでですね、学生に調べさせてですね。箕面で聞かないといけないということでお忙しいなかご協力していただきありがとうございます。

白川：いえ、こちらこそ。

豊山：それでは、まず、あの入手したい資料としてですね、事業報告書なんですけど、これですかね？

白川：事業報告書が、その緑の平成23年、24年度総会のなんで。全て事業報告なり、数値的なものも全て記載しているものになります。見て必要なものがあれば拾ってもらえたらと思います。あとみなさんのお手元に配らしてもらったものの中にチラシがあります

ね。それをめくってもらったら事業概要というのがつけさせていただいているんですけども。数値的なものと職員数がわかる資料であったり、組織活動的な部分があるものも記載させてもらってるんで、今後の調査とか勉強に役立ててもらえたらいいんじゃないかと思えます。ですから入手したい資料として職員数がわかる資料、箕面市のシルバーの組織がわかる分も記載しているので見ていただいたらと。

豊山：シルバーの職員の方っていうのは今どのくらい？

白川：正職員は今現在6名、アルバイトが8名います。私どもシルバー人材センターの事業と訪問介護をしておりますので、それ含めて。職員数はちょっと多いセンターだと思います。

豊山：訪問介護の件はシルバーから立ち上げたんですか？ それとも行政がやってくれということですか？

白川：基本的にうちからやりたいということで、立ち上げをさせてもらいました。といいますのが、ご存じだと思いますが、シニアワークプログラムといって**SP事業で介護講習**をやっているんですね。ブロック単位かなにかで、やってると思うんですけど。そういうヘルパーさんの**養成しながら活用が全然できていなかった**というのと、シルバーの中に福祉・家事援助サービスというのがありますけども、そこも結構高齢者の方が利用されていて、いざ介護保険適用となったときに、コロッと事業所さんが変わるよりは、できたら同じ人に来てほしいと。そういう仕組みがないの？という声がありまして。うちも連携してしたほうがいいんじゃないかということで始めた。

豊山：それは何年くらいから？

白川：平成15年のスタートで、最初2、3年は件数も伸びずに、正直3、4年経ったときはやめようかというくらい。**自前でやった手前関係上行政からの支援ないですからね。**たとえば利用者を譲ってくれるなど。うちの会員さんだったり、発注者さんがシルバーでやってるんだったらお願いしますということで徐々に増えてきて今では年間2700万をこえる一番伸びてる場所です。議案書の方にも細かく書いています。シルバーの実績も伸びてるんですけど、それに比べても介護保険の伸びのほうが大きい。

豊山：これはどういった形でやっていますか？ 請負、委任ですか？

白川：請負、委任という形です。よく言われますのは民業圧迫という話をよく聞くんですけど。私どもと一部の事業所さんの話なんですけども、どうしても事業所さんは儲けないといけないし、また若いヘルパーさん結構抱えられてるので介護度の高い、また収入のいいほう。どうせ同じ時間、同じサービスをするんなら、割のいいほうをされるんですね。うちのほうはどちらかというと高齢者の団体ですから、**介護度の高いのは難しいので、生活援助とか要支援1、2とかあまり収入の少ない人をまかされるということで、その辺のすみわけはできてる**のかなと。

豊山：それは結果として出来たのか、それとも前もって段取りしていたのか？

白川：**結果です。**やっぱりうちも最初から高齢者だと専門的なところは難しいですよとい

う話は聞いてある程度は発信していたんですけど。事業所さんもやっぱり、あまり露骨にあなたのところ単価安いからとは言えないと思うんですけど。**むこうは言いようで手に負えないのでシルバーさんお願いしますと。それはうちは嫌な顔せずに引き受けた結果が、**じゃあ、そこはシルバーさんに頼んで、介護度の高いところはうちがやりますよ。というすみわけが出来たかなと。

豊山：すごいですね。シルバー人材センターが訪問介護の事業所持ってるというのはないですね。

白川：**ないですね。他でも 10 センターあるかないかぐらいと聞いてますんで。**どちらかというの大東市さんとか守口市さんとか河北の四条畷さんとかは熱心にされてるみたいなんですけど、この北摂では箕面市だけですね。でも実際利用者さんも増えますし、実際入ってくる収入でみたらけっこう需要も大きいかなと。

豊山：けど動き出すためにはすごい手間かかりますよね？ それでみなさん逡巡しているところもあると思うんですけど。

白川：**手間はかかりますけど、そこをやっていかないっていうのがあるので。**

豊山：だってそもそも需要があること自体わかってる訳ですから。そのなかでどうやってやっていくかということですから。それは白川さんがいたときに立ち上げた？

白川：そうですね、平成 14 年。私が入ったのが平成 7 年ですから。最初は書類申請とか、そういう事業所としての要件を満たさないといけないので。人員確保は大変だったんですけど。それがある程度一段落して、**地道にチラシをまいたりだとか。**その結果が今のあれに繋がったんだと思うんですね。

豊山：その時の中心人物っていうのは白川さんだったんですか？

白川：私ともう一人、もう退職したんですけど。サービス担当責任者に立ち上げてもらって。資格がいることですから。事務的なことは私がやりながら。

豊山：今日、本当は HP のことで来たつもりだったんですが、すごいなと思って。HP のことはまた後で。広報で配ったチラシとかは？

白川：今日みなさんに配らしていただいた中のコピー。一番新しい今年の 7 月に配らせていただいた。うちの自前で作らせてもらったチラシです。で箕面市全体 5 万世帯に会員さんの手で配っていただいているものですね。あと今年の 2 月と去年の 10 月に配ったものです。一番好評だったのが個人家庭に配りますから、**こういう家のなかでシルバーが出来るということ結構大工さんとか、シルバーさんこういうことやってくれるんだというのがわかりやすかったというのをよく聞きました。**

豊山：これ全戸に配布してるんですか？

白川：はい、市内全戸に配布してます。これを年 3 回。形とか内容とかテーマを考えながら。

豊山：さっき下で見たんですが、作業所がくっついてるんですね。

白川：あります。襖の張り替えとかタオルの箱詰めとか。1 階、2 階はシルバーの。

豊山：これも初めて見たんですが、作業所とくっついてるというのを。下で作業してるのを見ることもできるわけですよね？

白川：そうですね、はい。

豊山：どうしてこれだけシステムがあるのか？ 建物があってそこには作業所がくっついていて上にはシルバーが入っていて総合的なセンターになっているのは？

白川：**箕面市の考え方ですね。**もともとやっぱりシルバーの設立当初から市の支援は多かったほうやと思います。市長も言うんですけど、**高齢者の働き口はシルバーに頼むでとはっきり明言していただいているので。そのあたりが他のセンターさんとは違うなど。**他でしたらシルバーとかほかのいろんな生きがい公社とかなんとか公社とかがあって、どうしても兼ね合いが出てくるんですけど。箕面市の高齢者の働く分はもうシルバーでという風に位置づけいただいているので。そこが建物だったり、仕事の発注だったりというのはこのあたりの市に比べるとすごい理解はいただいていると思います。

豊山：見てこれはすごいわと思って。

白川：他の視察に来られるセンターさんもえーという感じで。

豊山：それも実績があるからでしょうけど。

白川：そうですね。そのやることとか求められるところは大きいですね。

豊山：**高齢者の就業というとても大事な分野ですから。それを一手に引き受けてほしいと。**

白川：役所ですから書類も手間も多いですし、公平性というのでも問われますしね。ですから、その中でまだまだですけど期待に応えながらさせていただいているのかなとは思いますが。

豊山：こうやっていろいろ見ていて気になったのがこの**気軽にサポート隊**なんです。これはワンコインサービスなんです。これは実際機能していますか？なかなか難しいと思うんですが。

白川：そうですね。ご質問あったんで、例えば平成23年度の一年間の契約金でいうと106万で契約件数が357件です。先ほどの介護保険と一緒に最初は全然だったんですよ。でもともと**サポート隊を立ち上げる前の段階で、箕面市のほうで高齢者のお家に家具転倒防止を付けると。というお仕事を民間業者さんやとなかなか家に入れないと。シルバーさんという安心感から仕事を受けてくれというのを受けたんですね。**それは当初決められた転倒防止器具を付けていくお仕事だったんですけど。行った先でちょっと蛍光灯を変えてほしいんだけどとか、ちょっとここが壊れてるんだけどという話をよく**行った会員さんが聞いてきた**んですね。それならそういう需要もあるんじゃないかということで一回やってみようかと。というふうにスタートしたんですね。それとあと**火災警報器、個人宅に付ける。それも消防本部からどどこがいいという業者さんを紹介できないんで。できたらシルバーさんそういうのもやってくれへんかと。取り付けをやってくれへんか**というので旗揚げしたのであって。そういうのもありながら、地デジのチューナーの取り付け等の時事ネタを取り上げながらやると、けっこう高齢者のお家中心に広がっていったと。

よく言われるのは、**今業者さんもいいところもあるし悪いところもあるし。新聞、ニュースなどで報道されてるので。シルバーであればそういうことはないやろうという安心感がある意味大きいサービスになってるのではないかなと。**

豊山：それはやっぱり東大阪でもアンケートを取ったんですけども、公共的な団体だから安心というのはけっこうあると、安いというのもありますけど。

白川：そうですね。それを武器にしていけないと。

豊山：今日、変な業者いっぱいいますから。それでこれはサポート隊という特別な部隊がいるんですか？ それとも普通のシルバーさんの会員さんをピックアップして行ってくれということなんですか？

白川：**基本的にサポート隊専従の人は10人程度います。**2, 3名をリーダーにおいて。事務局からこういう依頼が来てるのでということ。基本的に1人多いんですけど、荷物の運びだしなんかで2, 3人いるときもあるんですけど。リーダーさんから今回はこの人という手配をしていただくと。ちょっとでも職員が一人ひとり電話するということがないように体制は敷いているんですけども。

豊山：じゃあ、事務局に例えば蛍光灯を変えてほしいというこががあれば、事務局のほうに電話がかかってくる？

白川：かかってきます。

豊山：それからリーダーの方に連絡をして割り振りをして。それを10名くらいで？

白川：**臨時では、全体で30名ほどいてます。**やはりこれだけで仕事してる方もおられますし、他で仕事してたりもするので。あと日程的なものとか。なるべくすぐに行かないといけないので。一週間も二週間も待たせると意味がないので。なるべく都合つく方は多いほうがいいので。中心10名、下に30名で対応できるようにということ。

豊山：これ言っても千円ですよ？

白川：はい、千円です。儲からないです（笑）。

豊山：それを担う人達がいるわけですよ？ それはまた別の仕事を当然いつているですか？

白川：行っている方もいますし、これだけの方もいます。で、やっぱりおっしゃるようによく言われるのは、1000円なんですよ。で場合によっては下見に行って、その場で作業できることもあれば、できないときもあり二度手間、三度手間ってところがあるので、正直、割が合わないって考える方がいらっしゃるのも事実なんですよ。ですけど、**結構こういうお仕事をやってみよう考える方は、やっぱり自分が役に立っているという、感謝されているというのか、私が言ったらいけないのですがそれの方が大きいですね。**お金のどうこうより、まあお金も材料費は実費分いただけるので、自分が持ち出すというのがないので、後は役に立ってよかったという部分が大きいですね。まあこれだけで収入というとぜんぜん、他で仕事している方が正直、割がいいです。

豊山：だからそのまあシルバー人材センターの元は理念は理念でいいのですが、今これだ

け景気がよくないとハローワークに・・・ハローワークも 55 歳くらいになるとシルバーに行けなくなっていきますよね。

白川：なっていますね。

豊山：シルバーは60歳からなのに。まあそれで、そういった時の経済的な理由で来るって方が増えていると思うのですが、そういった人達はここではないわけですよね？

白川：**ないですね。**

豊山：そういう違う社会に役に立ちたいという人達がこちらのほうに・・・

白川：はいそうです。だから、私も入会説明会の最初の説明を私がするのですが、やっぱり両極端、たぶん地域的なこともあると思うのですね。まあ昔なんか箕面市もその入ってくる会員さんも裕福と言ったらおかしいですけど、まあどちらかという年金にめぐまれて、あまりお金の話・・・まあ今シルバーに入ってそこまで仕事しなくてもっていう人がどちらかという多かったですけど、やはり今は当然そういう方もいらっしゃる。一応、やっぱりどうしても収入がっていう人もいらっしゃる**ので両極端になってきているのかなと思います。**これがまた大阪の例えば南部の方に行くとそうも、とりあえず収入なんとか仕事よこせと。

豊山：東大阪もそれっぽいのですよ。収入なんです。例えば中小企業の町ですから、工場をやっていけると思っていたんですけど、年金をあまりかけていなくて、今この時代ですからたまたまないといけなくなると、なんで生活していくかということとなるとですね。やっぱりそういったシルバーとかということがけっこうやっぱり、その地域地域によってかなり違いますよね。

白川：これはもうやっぱり

豊山：北摂だったら裕福ですか、基本的に？

白川：やっぱり違うと思います。やっぱりその雰囲気が違うと思います。

豊山：その絡みでいきますとホームページの運営なんですけど、これは会員さんはいろいろとやっているんですか？

白川：これは会員さんで。うち PC 同好会っていうものがありますので、40名いてはるんですけど、そこの中の4、5名の方に運営は任せています。更新であったり、先ほど見ていただいた動画なんか全部お任せで後はうちの私の事務局と後、シルバーの広報部会で理事中心の部会があるんですけど、そこで基本方針ですね、どんな載せるこんな構成にしたいというのは、4、5名の方にお伝えしないと技術的なものはしてくださるのですが、やっぱり構想はできないことはないのですがやっぱりできたら考えてってかんじなんで、その辺は役割分担で

豊山：広報部会でコンセプトみたいなものを考えて、こんなものにしたいんだってことで技術側と一緒にやっていくという。

白川：はい。

豊山：その場合なんですけど、やっぱりパソコンに詳しい人っていうのは、もともとそん

なには・・・

白川：いてはりません

豊山：例えばパナソニックにいたとか・・・

白川：そうですね、この HP に携わっている人は IBM でそういう技術 SE というか、やっ
てはった方ですね。もう PC のことは詳しいです。

豊山：だから、そういった人が一人いれば変わるんですよ。

白川：はい、変わります。

豊山：だから私も東大阪は広いわけですから、そんな人いないのかなと常々思っ
てはいるんですけど。

白川：居てると思いますよ。

豊山：だから、発掘して、こう HP とか・・・昔からやってたら、すごい詳しいですよ。

白川：詳しいです。で、ビデオの方もアマチュアのビデオサークルというもの
があってそこで活動されている方で、これもお金とかじゃなくて自分がそういう持
っている技術を活かせる場と言われた時に、まあシルバーもそんな業務はない
んですが、編集業務はないんですが、HP でできたらそういう風に動画を撮
ってもらったらという話で。元々そういう部分もあったんですけど、ビデオ
の方については、こういう風にもうシルバーの方に行事とかも撮影してく
れるんですよ。でここまで製品ぐらいに。

豊山：それはビデオサークルですか？

白川：その方はビデオサークル、アマチュアの方に入っているのですが、シ
ルバーで自分の技術を活かせるんやったら撮影して記録として残したらまあ
いいんじゃないですか。っていうところから始まって、でこれは、もう記
録映画なんで長いんですよ。これは、HP に向かないので HP にもも
っと活動がわかりやすくなって言って編集してもらって編集したやつを
HP に UP するという。で、そういうもうこのビデオに関してはもう本
当にどないでもしてくれはる方なんで編集から撮影だけじゃなくて編
集はやっぱりめんどくさいんですよ。

豊山：確かに。

白川：HP も全部してくれはるんで、もうこの二人、三人の力は大きい
です。

豊山：やっぱりまわしているひとは、二、三名になるんですかね？

白川：実際そうですね。後は、サポートしてくれる人がいてるんで。

豊山：これはアマチュアのビデオサークルっていうのは、その人が個人
で入っている？

白川：はい、個人で。

豊山：でそこで個人で身につけたノウハウをこちらのほうで活かしたい
という・・・

白川：シルバーでそういう活かせますかと言われた時に**普通で考
えたらないんです。で発想の転換で全然こういう記録とって
もらったりとか、HP とかでまあ活動していただいたら別に
その技術も活かせるわけですから、だからその方もまあ別に
収入じゃなくて自分の技術を活かせると思うと満足なんですよ。**

豊山：手当みたいなものは??

白川：一応その PC 同好会に対して月一万で年間十二万、更新とか後、撮影とかを含めて月一万で後は配分とかはもう任せてるので、まあ撮影行った人とか更新した人とか。だいたい個人が取るとかじゃなくてその PC 同好会の運営費にまわしているというのは聞いていますけどね。

豊山：その中でこの中心となる人がいてまわり始めていると、とても雰囲気としていいんですけど、それを**のせるような仕掛け**というようなものは、**シルバー人材センターとしてなにかあるんですか?**

白川：そうですね、毎月就業相談日っていうものを会員さん向けにしてるんですね。

豊山：会員さん向けですか??

白川：会員さん向けでまずは。その中でなんで私は仕事ないねんとか、普通はそういう相談日、職員が面談で対一でするんですけど。**人によっては、こういう風に提案してきはるんですよ。企画書持って。**

豊山：すごいですね。

白川：**このサポート隊もそういう提案なんですよ。**私のこれやりたいと。**後は、それを受けて事務局は、乗れるか乗れないかなんですよ。**やっぱり申し訳ないですけど、私もいろんなセンターさんとお付き合いがあるんですけど、いやーそんなん、のれへんわーって言うてしまうと、この人は恐らくやめてしまいますわ。

PCも…それなりに考えて分析もして…そこできたときの対応だと思うんですね、私の他のセンターさんにそれを話すのは…

豊山：なるほどね～

白川：だから、**既存の仕事だけで考えたら多分断っていると思います。「いや～うちではそんなんできひんわ～」**って言ったら**技術持っている人は、すぐにやめてしまいますわ、**みこみないと思ったら、あの～そういう判断は結構速いんです。

豊山：企画をあげてきた時に柔軟に対応して…

白川：そうですね。じゃあうちのその別に仕事じゃなくてそれ以外の活動全部含めて何か活かさないかという対応やと思うんですけど、ビデオにしてもサポート隊にしてもそういうことを言ってきたら乗る人にはもうやっぱり言ったらやりますよね。自分が提案した以上は、ある程度頑張っただけっていう分に関しては。

豊山：その対応はちゃんとしたら・・・

白川：**やっぱり責任持ってされるというのは、大きいかなと私も。**

豊山：それは、白川さんたちが職員と会議する場合に極力受けていこうという。

白川：そうですね。それはやっぱり会員さんがやっぱりそういう風に提案されているものをやっぱり断るのは簡単なんですけど、でもやっぱりそこを活かしていかないと結局事務局が全部あれもこれもやらないといけなくなるので。

豊山：普通はそのパターンが多いです。それをやると・・・しっかりしている所はね塚にも

行ったんですけど、あっちの方はしっかりしているので、

白川：はい。

豊山：理事さんとか、会員の人達が一生懸命やっているところは活発ですよ。

白川：活発です。ですから、全体的にその箕面市のシルバーでも例えば一つの目安で年一回の総会があるんですけど、**その当日の出席者ではかるんですけど、例えば今うち千二百人の会員に対し当日会場にやっぱり五百人超えるんですよ。出席者が**。で例えばこの近辺で豊中とか吹田とかやったら会員数千八百人いてるのに、出席者は二百人とかね。だからその仕事だけみたいなの。それは、もうやっぱりセンターと仕事以外に参加しなあかんねんと思ってる会員さんが多いところではやっぱり、動きが違うのかなと思います。

豊山：会員の方々も違うんでしょうけど、やっぱりこういういろいろ HP 比べてみても、いろいろやっていますよね、こちらの方が、そのシルバー人材センター自身は。

白川：そうですね。

豊山：その絡みでいくと独自事業があったんですが。

白川：緑のリサイクルとか。

豊山：緑のリサイクルとか竹炭生産事業とか、こういったのはどういった経緯で？

白川：そうですね、今日お渡しした記念誌のほうの p 40、細かいところは書いています。元々平成6年にそういう、30周年記念誌のなかに40頁に。そういう活動の写真とか、まあそういう風に環境に優しい街づくり、それに対して当時まだ国も裕福で、補助金もだす時期だったので、なんか市と連携して企画したらお金出すよっていう状況でしたんで、うちでなにが出来るんか考えた時に始めたのが植木・剪定とかは公園の掃除とかここは多いので、そこからでた**ゴミをなにかに有効活用できないかとなった時に始めたのが緑のリサイクル・腐葉土づくりでそこから派生して竹藪も伐採したりとか、これも活用できないかとなった時に竹炭、それをつくる窯をつくろうかとなって、これもやっぱり軸となる会員さんがその時にいてはるんですよ。だからこんなん考えてるんやけど誰かとなった時に、ワシ竹炭やっていたでとか、畑やっている人が何人か腐葉土やったらつくろうとか。そういう風に情報発信した時に乗ってきはる会員さんが・・・**

豊山：それはどうやって情報発信していくんですか？

白川：**それは毎月、事務局便りを会員さんに配るんです**。これを毎月配るのでここに例えば新企画募集とまず決定する前に今こんなん考えていますと、まとめてアンケートみたいな形で興味あるかたは声をかけてねとか、**まず募るんですよ**。でその動きをみて修正したりとか、多かったらその説明会とか一回設けて本当にどんなことがしたいのか、やれる人を絞っていく・・・**毎月情報発信していくというのもなかなか**。

豊山：配る前は各班に分かれていてその班長に配ってもらうという・・・

白川：はい、地域員さんに、今66班に箕面市内を分割していて、その地域員さんを通じて各会員さんに配布を願うという。

豊山：月一回っていうのは、結構大変では・・・

白川：大変ですよ。

豊山：大変ですよ、多いですよ。

白川：**めずらしいと思います**。年何回というのは他にもあると思うんですが、月一回これを発行するのもそうですし配るってなったらなかなかないと思います。でも、そういう積み重ねだと思います。

豊山：本当にそう思います。

白川：いきなりポーンとは絶対出来ないと思うんですね。

豊山：そんだけ手間をかけてしんどい思いをするからこそそういう五百名という方が出てくると思います。

白川：会員さんもそういうところを見てはると思うんですよ。私らも楽しよう思ったら楽できるんですけど、やっぱり**事務局、職員もこういう風に頑張ってるんやから、できる範囲で頑張ろうというところは、伝わっていると思います**。

豊山：本当にそう思います。では、竹炭、リサイクルをこういった風にやりたいんですけどって言ったならそのあれを見て・・・

白川：応募してきはる。そこでまた応募しはった人にどうフォローというか、まあ合う人と合わない人もいてはるんで。また新しいものが出るかもしれないという・・・

豊山：何か質問ある？（学生） 本当は、学生達に関わることはすごい重要なことですね。なぜかという、大学とかでやっているのと請負とか委任とか聞いても退屈なんですよ。ところがそれを知っておかないと、現場に行ったときに、そういった話が飛び交うわけですね。だから学生が本当に必要なんだっていうきっかけを与えることができる。私達もシンドイですけど、大学でやっていることが意味なくやっているわけではなくて、試験のためにやっているのではなくて、実際の生活で使っていくんだということを実感できる。ですから東大阪市においても心がけている。

白川：どうですか、でも逆に、その説明会に参加されているというアンケートもとられているということもお聞きしたんですけど、雰囲気というか、今のセンターさんの・・・？

豊山：そうですね、君たちは行ったんだよね、どんな感じだった？

白川：仕事の様子がよくわからないというような感じのなんか・・・

小石原：そうですね・・・

豊山：この前、中間報告会したんですけど、その時学生にアイデア出せて話で、入会説明会に来たと。そしてしばらく待つ時間があるんですね。

白川：はい、はい、はい。

豊山：その間スライドみたいなものを流してたらどうだと学生達が出して、それはいい案やなと思って・・・**具体的にはどんな仕事をしているのかということがわからないのであれば、スライドを撮って流す**と時間つぶしにもなるシイメージもできるかなと思うんですね。

白川：なるほど。

豊山：ただ、学生は言っていましたけど、実際アンケートでも仕事の内容などわからない、教えてほしいなど出てきますから。確かにわかりにくいですね。

白川：そうですね。東大阪市の入会説明会は通しで聞かれたこととかは・・・

豊山：あります。

白川：じゃあこういう書類的な部分で職員さんか理事さん説明されておわり・・・？

豊山：そうですね。だからスライドかなんか映すのかな、スピーカーで流れるんだね。

渡邊：ビデオとスクリーン画像・・・

白川：なんか、シルバーはこんなとこだよーみたいな。

学生：そうです。

白川：うちも基本一緒なんです。最初始めて、ビデオを流すんですよ。**その時はプロの方に撮ってもらった**んですけど、全シ協さんとか大シ協とかがやった、通り一遍のものではなくて、自分の所のシルバーの仕事映したビデオを10分位独自で作ってます。それを見てもらって私の方からシルバーはこんな所ですよって話をさせてもらってます。後はさっきのホームページにも出てくるんですけど、やっぱり今の人って下調べとかをしてくる人が多いんですよ、年齢の高い人は無理ですけど。60代前半の方なんかはしてくるんですよ。だからホームページを見てある程度は**予備知識的なものは入ってくるので、それほど仕事の一個一個の説明に時間を掛ける必要はない**し、そして、まだ準備中なんですけど、パワーポイントで動画も入れながら、例えば今は除草作業、植木剪定、襖、障子の張替えとかの言葉だけになってると思うんですよ。そこにカーソルを当てたらその動画が10秒位流れるという様式に変えようと頼んで作ってもらってるんです。それができたら入会説明会のことも楽になるかなと考えています。見た方が早いんで。

豊山：一番良かったのはですね、**西宮の入会説明会は抜群だった**ですね。ビデオがあるんですけど、それはもう業者が作った物で財津一郎さんのナレーションで非常によく出来ていてですね、ああいって形ですると興味が湧くと思うんですよ。文字だけでやられると・・・

白川：退屈ですもんね。

豊山：はい、退屈だと思いますし、なおかつワークシェアリングだとか・・・

白川：わからないですもんね

豊山：わからないですもんね、実際。それで東大阪市の方にも私たちはあちこち回って提案はするんですけど、それでもやり方ってのがありますから。

白川：ですね。もちろん試行錯誤しますよ。私も思うんですけど、仕事の内容の説明は見て分かるように省きたいんですよ。ただ、シルバーの働き方がキーワードありますよね、ワークシェアリングとか、適正就業とか、請負・委任とか、この辺の説明をわかりやすく時間を掛けてあげないと、仕事の説明はだらだらする、シルバーの仕組みをだらだらするでは飽きてきはるんですよ、会員さんは。

豊山：そうですね。飽きてきますね、確かに。

白川：それなら、仕事の種類はパッと見てこの通りですと終わらしといて、今システムの

会社さんとも言ってて、2~3年の内にやりたいと思ってるんですけど、iPadとかありますよね、あれを窓口に置いて資料と一緒に待ってる間見たい情報が見れると、ホームページだとどうしてもパソコンがいるんですけど、そういう端末ならハードルもちょっと下がるかなと思うんでね。

豊山：なるほど、人数分？

白川：人数分用意しても説明が楽に正確に伝わるのであれば。仕事の紹介はこうですよで終わらして、どっちかっていうとシルバーでは実はこういうところっていうのをじっくりある意味理解してもらわないと、いやこんなはずじゃなかったというのが一番、そのギャップが怖いんで。それなら整理をして仕事の紹介は簡単にわかりやすく、仕組みの絶対おさえなあかんところを重点的にやって、そのうえで入ってもらうという風に切り替えていかないと、とは思っています。これも話されてこれも話されて1時間以上、**結局何のことかわからんと思っただまま入会するかしないか聞かれるんでこれはあかんやろって**

豊山：自立とか理念のお話がありますね、あのスローガン、ああいうの聞かされてもね、意味が分からないと思いますね。

白川：わかりません。私らも最初シルバーこうですってさらっとやって、仕事の様子はこうですって終わっちゃうんですよ。こういう仕事はあるんだけどもシルバーの仕組みはこうですっていう所で話をしないと、だらだらすると。私も他のセンターを見に行っただんですけど、あれは嫌やでみたいな。

豊山：私も学生に請負とか説明するのが難しいところがあるので。

白川：はい

豊山：そのいい例が必殺仕事人で

白川：ははははは、そうですね

豊山：あれは請負か委任かっていう話で、やっぱり殺さないと結果を出さないと報酬がもらえないので、いい例なんですけどホームページには書けないんですよ。お年寄りの方はよくわかると思うんですけど。

白川：書けないですね、内容的に。

豊山：だから非常に悩むところなんですけど、そういった風にいい例え、いい説明の仕方とかするとかなりわかりやすくなるのかなと。

白川：そうですね、ですからうちもホームページの上で、活動紹介なんで大きなテーマというのが。その中で今度は**シルバー説明するときに発注者向けなのか、会員募集向けなのかってきちんとってあげないと、なんかわかったようなわからなかったような説明になるんですよ。**

豊山：そうなんですよね

白川：シルバーの説明ってどうしても側面二つあるんですよ、会員募集は仕事の紹介、仕組みを中心にしないといけないし、発注者はどうしてもこんな仕事してますよ、支払いまでの流れはこうですってことを伝えないといけないので、そこをうまくこと例えば今回

は就業開拓、今回は会員募集の方っていう形でテーマを決めて大きくはさせてもらってるんですけどね。

豊山：それはとても大事なことだと思うんですけど、やっぱり就業、発注者向け、発注者獲得の話と、会員、結構意識せずにごっちゃ混ぜにしてやってる。困りますよね聞いている方は。

白川：そうですね、何の話かわからないですよ。

豊山：そうそう、どの話をしているのかパンッと分けないと似たような感じですよ。

白川：だからシルバーの職員にシルバーの説明をしてもらった時に、どっちから説明するかって話なんです。会員向けにするか発注者に寄った話をするかによって全然話違うはずなんですけど、**ごっちゃにするともう何のこっちゃわからないんですよ。私らもそうです。**

豊山：だから学生にふれあい祭りっていうのがあるんですけど、各自治体あるんですけどゴールデンウィークにその時にシルバーを PR しようってことで看板作らしたんですけど、**そこで初めて意識しないといけないのがわかるんですよ、つまりサンドイッチマンさせたんですが**

白川：ああ、なるほど

豊山：前には会員の話と、後ろは発注者向けと。そこで初めてしっかりと分けないといけないのが学生はわかるんですね。ところがそれを意識させずにやると発注者なのか会員向けなのかまったくわからない話になってくるっていうのがまさに当然だと思うんですね。

白川：確かにありますもんね、案外ほんとにホームページも今やるようになったのも結局私らも企業さんとか訪問活動とかして回るんですけど、後入会説明会来られる人にも聞くんですけどシルバーの根本のことなんて知らないんですね。私らはこういう仕事してるんでよくわかってるつもりなんですけど、**一般の方なんてほんとにシルバー知らないの方がまだまだ多いと思ってるんですね。**だからそこをいかにわかりやすく説明してもらおうっていうことが出発点なんです、ホームページの。ですから動画とかやるようになって今までほんとになかったんですけど、**メールでこういう仕事やってくれるんですかっていう問い合わせが月 2 件、3 件入るようになりましたからね。**ほんとに何処に頼んだらいいかわかんときは箕面市かなんかで検索かけると思うんですよ。その時にシルバーとか出てくるんでしょうね、やっぱりキーワードがヒットしてきますから、そしたらそれ見て頼めるんやったら一回メールでやってみようみたいな形で増えてきましたからね実際。あんまり面白くないホームページの時はそんなのなかったですもん。

豊山：あー、面白くなかったでしょうね、ははははは

白川：やっぱり最初は面白くなかったです。ありきたりの。あまり更新も今ほどせん。やっぱりキーワードを沢山ちりばめることによって、チラシを見てっていうのよりは、あれどうなんやろ、これどうなんやろで検索する方も増えてきているので、そういうキーワ

ードで拾えるように。

豊山：キーワードをちりばめるって意図的に中に入れ込むってことですか

白川：例えば宛名書きの場合、よくシルバーでは筆耕とか書くんですよ

豊山：はいはい、書く、書く、書く。

白川：でも、そんなん筆耕ってわかります？って、話なんですよ、それなら宛名書きとか。施設管理とかでも、まあそらそうなんですけど…

豊山：ああ、なるほどね。

白川：ちょっとこう確かに使うんですけど、それプラス施設管理ってところで使ってるんですけど、ちょっと違う角度からホームページ入ったとき、場面を見てる時は**宛名書きって言葉も入れとくと分かりやすいですね**。植木剪定とか言うけど剪定って言われてもわからないんですよ。植木の手入れとか除草とか言うよりは庭の草引きって言ってあげるとか、そういうふうにはホームページの中でも画像プラス言葉を入れてあげると分かりやすいですね。

豊山：言われて見ればそうですよね。私は筆耕というのは学生に、知らない方が悪いんだから筆耕を覚えなさい、って逆ですね。私今日の15時から東大阪市のホームページの管理をしている委員会に生徒と出席するんですけど。それはおっしゃる通りですね。

白川：分かったつもりでいるんですけど、職員とか会員さんは分かって当たり前ですけど、筆耕よりは宛名書きとか賞状書きとかにしてあげた方が分かりやすい。ホームページやインターネットの画面で宛名書きというのが思いつくのは多いと思うんですよ。宛名書きと入力して検索しても、こちらのホームページに筆耕しかなければヒットしないんですよ。**だから会員さん達が考えてくれるメリットはそのへんなんですよね。私たちが作るとどうしても筆耕とか施設管理とか家事援助とかシルバー用語になってしまうんです。**

豊山：そうですね、特に施設管理と書いてあるんですけど、イマイチ分からないです。具体的にどんな事なのかということが。あと屋内清掃とか屋外清掃とかも具体的に分かりませんよね。それプラスどこかでヒットするようなイメージで来るような言葉を入れておくと検索した時にヒットする可能性が出てくると思いますね。

白川：ホームページではどこかでヒットするように同じ言葉ばかり載せないように、発注者の方を易しくするとか会員さんのどちらかを易くすれば可能性を上げると言う意味では何とかなるのではないかと思います。

豊山：今日早速東大阪市のほうで言わしてもらいます。

白川：そういうふうに**最初は高齢者の方にだけ知ってもらえればいい**と思っていたんですが、**そうじゃなくて若い世代の方に知ってもらってやっとスタート出来るのではないかと**思っています。

豊山：シルバー人材センターとなるとお年寄りがする話、あくまでも会員を主体と考える話であって。発注者で考えたら若い子が頼んでもおかしくないのだから、そういう発想の転換は必要だと思いますね。

白川：だと思えます。うちらも今、北摂七市三町あるんですけど、**年に一回シルバー人材センターフェスティバル**という所でお金と知恵を出し合ってイベントをやっているんですよ。それは正直に言うと高齢者会員獲得だけでは割が合わないんですけど、大きな意味で**キャラクターショーなどをしてお客さんに見てもらっている。それは何かという知ってもらいたいだけなんですよ。**子どもさんもそうやし、子どもさんが来るということはその親が来る。場合によってはおじいちゃんおばあちゃんが来るかもって感じだね。そういうふうに、高齢者向けにするとイメージが偏るんですけど、もっと門を広く知ってもらえないとシルバーはまだまだ知られていないのかと思えます。

豊山：シルバー人材フェスティバルというのは豊中とか・・・。

白川：池田、茨木、高槻、この北摂の七市と豊能、能勢、島本町の三町の十センターで共同で年に一回お金を出し合って、今年はセルシー広場であります。

豊山：この前は豊中の方にもあったらしいんですけど、そのときにシルバー人材フェスティバルについて若干お聞きしたんですけど…。

白川：はい、そういうふうに幅広い世代の方に知ってもらおう活動というのも、結果としてそこから仕事であったり会員獲得につながればと思ってるんです。やっぱり一般の人は高齢者の団体というイメージ的には暗い重たいと思ってる場所があると思うんですよ。

豊山：そうですね、ほんとにシルバーって感じですよんね。色が。

白川：それを変えないとって思ってます。他の市の職員さん達にも言うんですが、**事務所の雰囲気だと思うんですよ。事務局が暗かったら来た会員さんも暗くなる**でと。それは施設の綺麗、汚いではなくて、初めて来る人が良い所だと思える対応から入って、会員さんもそういう意識になった上で入ってもらったら、きっと資格を持ってる人達は色々なことをやって見ようという気持ちになると思うんです。

豊山：それは私も実感していて、**例えば西宮へ行ったときに私たちが来ることを全員知っていて挨拶をしてくれたことにびっくりしたんです。**ここはすごいなあ職員間の連携も出来てるんだと思いました。

白川：そこは雰囲気とか、やっぱり会員さんであったり、市民の方であったり、入会しようと思う気持ちになるんだと思えます。

豊山：思えますね、それは。入りやすい雰囲気が大事だと思います。

白川：それなら今度自分はこれをやってみたいと思ったら話しやすい。根本的な話、**広報活動などの難しいことから入らなくても、そういう所から入れば結構変わるんじゃないかという気はするんですけどね。**その中で広報やホームページ、チラシ、イベントが出てくると思うんですよ。

豊山：あと女性の会員就業拡大コースですか

白川：そうですね、これは平成22年度に女性部会という組織を立ち上げて、**その中で女性会員がシルバー人材センターでどんな事が出来るんだろうと議論しているところなんです。**まだ就業拡大とまでは言ってないんです。何故かというシルバーといった時に女性にで

きる仕事といえば、清掃、家事援助というイメージが出来上がってしまっている。ここ何年かは女性もフルタイムで仕事をしてきている人が増えてきているので、事務的な仕事、パソコンや施設の受付などの仕事に興味を持つ人が多いんですね。でもシルバーでどうなんかってなったら、なかなか無理、できていない。仕事の紹介ができていないので、シルバーとしても女性会員の働く場所、またどうやって働いてもらったらいのかっていうのを部会で話し合っていたらいいところなんです。そこに事務局も入ってもらって考えているところなんですけど。女性の方の施設の受付ってなった時に夜間とか早朝っていうのもあるので、うちが良くても本人が良くても受け入れ、その発注者のお客さんの方がどうしても不安であると。昼間だけ女性の方に受付に入ってもらおうとか、ちょっとその分男性の方減りますよ、というふうに**仕事の配分そのものを変えることもいるんじゃないか**など。ということをうちのシルバーの中で考えている。それを整理してどんどんと女性会員に掃除だけでなく施設の受け付けもありますよと。そのかわりに男性の会員は仕事が減りますけどね。そういうふうに女性向けというか女性会員さんのシルバーへの対するイメージを変えなアカンというのがセンターの課題です。

豊山：それはそうなんです。豊中で聞いた時には除草とか、草引きは男性の仕事やってイメージがあるんですけど実際は女性のほうがきれいにやりますよっていう話をしまして。既存の仕事を男の仕事やと思っているのを、**女性を入れてもなんの問題もない、工夫して入れないといけない**。だから、そういう意味では女性がどんどん増えていきますし、なおかつ女性の仕事、訪問介護などもそうでしょうけど増えてくる。

白川：増えてくると思いますよ。まだまだうちも考えていけないといけない。

豊山：子育て支援で、豊中の場合だと何人かを子育て支援ができるように37時間かけて教育して、もう今それはしんどいので2年間で辞めたけどその時が育ったひとが何十名かいてその人たち子育てのヘルパーとかベビーシッターみたいなことやっている。

白川：そういう子育てとかそういう送り向かいとか、ベビーシッターの仕事もありますし。それだけじゃなくて今ここで委員会を開いていて夏休みとか春休みにチャレンジ教室といってその**地域の子供たちとセンターの会員さんたちと触れ合う機会イベントを年2回やっています**。夏休みではこの下で流しそうめんと会員さんの工作教室をして人によっては中にはパン職人やケーキ職人のひともいるので料理教室をやって見たりとか工作教室をやって見たりとか冬は正月前なので餅つきとか、しめ縄作りとか昔の伝統的な分もやりながら会員も知っていることも活かせるし子供さんや親御さんをひっくるめてシルバーとの交流なので子供たちをいれた地域イベント。

豊山：子供たちをいれた地域イベント東大阪ではやっていないですね。聞けばなるほどと思います。

白川：会員さんも資格技術も活かしますし、センターはPRイベントのひとつやと思っている。子供たちも3、4歳の子から小学低学年の子たちなので一人では来ないので親御さんたちにも工作教室をやってもらったりとかをしている。ある程度、皆さんシルバー知らな

いって言ったんですけど、結構知ってるって、清掃やろ、植木やろ、施設管理やろってこういうことくらいなんですよ。で案外とこんなこともやってくれるんだということもやっぱり知ってもらうのも、**子育てだったり、サンタクロースを派遣したりとかね、なんでもやっぱり地域に密着したことをやっていきますよと**、知ってもらうことが一番大事ななと思うんですけどね。

豊山：それは、事業報告にのっていますか？

白川：はい、のっていますよ。特に30周年の記念式の写真にありながら、こういう仕事の様子とかも載せてますので・・・。**たぶん仕事の種類とか扱っている分には結構多い方だと思います**。ほかのセンターさんと比べるとたぶん・・・なんだかんだと手を広げてる方だと思います。

豊山：本当にすごいですね。あと、**互助会というのがあるって見たんですけど、シルバーの会員になっているメリットがあるんですよ**？こういう互助会に入っていると。

白川：はい、ありますね。まあ基本的には、会員さんの親睦とか、運動会であったりとか同好会であったりという部分なんですけど、これはもう他のセンターさんもやってはると思うんです。で、それプラス去年から**会員優待割引施設の拡大を始めた**と、でこれはなにかというと、うちのセンターの会員証、写真が入ったプラスチックのカードなんです。これを店行った時に、例えば飲食代金10%OFFとか商品の代金5%OFFとかということができたら、**会員さんにとってはシルバーに入ってよかった**なと、**仕事以外にも感じてもらえるんじゃないかな**ということ。で、**今、互助会の役員さんを中心にまだまだなんですけど、まあ10店舗そういう風に協力いただいている店が出始めてるんですよ**。まあケーキ屋さんであったり、ラーメン屋さんであったり・・・という風に順次広めて行こうかと。

豊山：それを提案したのは白河さんなんですか？

白川：いや、これは互助会の役員さんなんです。せっかくこんなにええ会員証があるんやったら。もともとその他のセンターもやってるんですけど薬、家庭薬の割引とか。業者さんとタイアップしてセンターの会員さん向けに。けどそれだけじゃちょっと寂しいということ。じゃあ、**身近な店で割引ができれば会員さんにとってもプラスやし、家族の方にもシルバー入って良かったねって思われたほうが会員さんにもいいじゃないですか**。ということ。でそういうのが出来たらいいなと役員会でわいわい話してるなかで、じゃあ実際言ってみよう。その資料持って協力してもらえるところがあればしてもらおう。ご自身の家の近くを順次回ってもらっているところです。

豊山：その協力企業はどういった意図で引き受けるんですかね？

白川：あの一、結局その企業さんというのも他で割引サービスとかやってるところ多いんですよ。そういうのが会員さん見てはるんで、行きやすいんですよ。それやったら企業さんから見たら、**どうせやるんやったらシルバーの枠も作って、もし万が一利用してくれたらラッキーやなって、それが口コミでひろがったらラッキーやな**ということ。あと事務局だよりの中でも互助会便りでも載せるんですよ。こうやって対象施設が出来ましたみ

たいな形で。**ほんならこれも企業さんから見たら宣伝なんですよね**。1200人の会員のところに行きますよ、毎月と。大手のチェーン店はまだまだ乗ってこないんですけどね。けど地元のお店からしたらいい宣伝になるかと。1200人、向こうからしたら追加で費用払ってくれというわけではないので利用者、人に対して商品の値段の割引をしてくれたらいいというレベルなんで。ま、そんなに損はお互いしないのかなと。

豊山：ほんとにウィンウィンの関係ですね。

白川：ですから会員さんも大手のスーパーも地域の活性化と言うけども、こういうことちゃうんかいと。地域に結びついてるとええ恰好する人いてるけども。地域の店とシルバーとも連携してまんねんということちゃんうかと。

豊山：ほんとにいい企画だと思います。

白川：それとうちは**プラス就業開拓を裏に入れてるんですよ**。企業さんには行けませんやんか。ある程度利用してくれたらまたシルバー利用してくれませんかって。

豊山：それはどういうこと？

白川：たとえば、仕事があればうちのセンターは小さいですけど、清掃などはうちでも行きますよという話がしやすくなるんですよ。いきなり飛び込みで行くよりシルバーですって行くよりはたとえば、会員さんが利用しはって、企業が「シルバーさんありがとうございます」っていう印象を持ってくれはるんであれば、またうち何か仕事があればお手伝いしますよっていう風に入っていくやすいんですよ今度。まあ、またお願いしますねって。そういう関係をやっぱり裏では思ってます。今は会員さんは得して良かったねって言うてますけど。

豊山：そういう裏ですね。ほんとに紙の裏に書いてあるのかと思いました。

白川：裏ではまたそういう企業さん、お店さんとの関係作って。またシルバーを利用してくれたらいいなど。これはなかなかやってるセンターないと思います。

豊山：ほんとに広げていきたいなど。

白川：**うちも広げていけばこの辺の近隣のセンターも全部やろうと言っているんです**ね。

会員さんも得するし、シルバー全体の底上げにもなるかなと。

豊山：あと最後ですが、広報活動について広報活動のチラシを回しているのは…

白川：年に3回。全戸、市民受けに配布しています。会員さん向けは後でお配りしますが、事務局だよりを毎月配布しています。あと広報活動っていうのは箕面市の広報誌に、たまにシルバーの活動とりあげてもらったりだとか、会員作品展というのを箕面市の駅前の公共施設借りて一週間、絵や写真をみていただく。

豊山：どこを借りるんですか？

白川：箕面の文化交流センターという。駅前にある施設なんですけども。そこでシルバーの作品プラスシルバーの活動紹介とか、さっきのビデオとかHPを入れて。けっこうそれもお客さん来はるんで。**シルバーの紹介をいれて作品展の開催をしています**。シルバーの合同でフェスティバルを開催したりだとか。あとはチャレンジ教室、子どもさんとの

交流とか、仕事だけといったら仕事だけけどPRも含めて活動紹介をしています。

豊山：アンテナショップが下にありましたけど。

白川：あれはこの建物全体なので、うち以外の団体さんも物売ったりとか、活動紹介したりだとか。

豊山：すごいですね、すごい参考になる。

白川：いや～うちもまた皆さんの方でまた新しいのがあったら。

豊山：なにか質問があったら、ありますか?? (学生に・・・沈黙) お前ら (笑)

白川：ええ～

豊山：(笑) なにか質問しいや～

学生：HPを見て思ったんですけど。

白川：はい。

学生：ここまで来るのに地図はどこやろみたいな。

白川：ああ～そのへんはもうちょっとね、丁寧にいるかもしれないね。

豊山：いや～あの地図で探さしたんですけど、

白川：はい、はい、はい、はい。

豊山：自分が責任持って行けるか・・・

白川：なるほど、確かに市内の方対象にしているんで、そういう発案は抜けているかな。

だからね、**その辺がまだまだね私らがわかったつもりで、やっぱり改善していかなといけなくてねHPもまだまだ・・・**

豊山：でもHPも本当にね、ここは府下のHPを全部調べさせたんですね～

白川：はいはい。

豊山：どのHPが一番いいかってことで・・・それでまあ今回箕面が一番いい・・・

白川：いや～まだまだ 笑

豊山：いろいろありますが、やはり勉強になりましたね・・・本当にありがとうございました。

2012年4月19日

初顔合わせ!!!

豊山ゼミ

去年はあまり人が多くはなかったけど今年は新3回生8名、2回生14名の確保に成功しました(≧▽≦)

17日のゼミの時間を使って東大阪市シルバー人材センターで新メンバーの顔合わせを行いました。センターにも、今年から勤務する人がいたらしくお互いに紹介しあうという形で紹介させていただいて負けずに頑張ろうという気持ちが出てきます。

人が増えると連携を取るのが難しくなると思いますが、先輩後輩関係なく仲がよく連携のとれるゼミになります!!!





2012年5月15日

ふれあい祭りに参加しました!!

豊山ゼミ Fチーム 越智

2012年5月13日(日)近鉄八戸ノ里駅から布施駅にかけて行われた「ふれあい祭り」に東大阪市シルバー人材センターも参加する、ということでFチームと2、3年生の有志でお手伝いに行ってきました。

センターのふれあい祭り事業部会に参加し、出展して何をするかなどを話し合う会議に出席し、ゼミは広報活動を担当することになりました。その一環として、ティッシュ配りや看板を身に付けて歩きながら、会員や仕事の募集を呼びかけました。

当日は、朝の8時30分からブースの設営を手伝い、日中の暑い中でも、声をかけ続けました。午後になるとみんな歩きすぎて、足が棒になってしまいました。(; _ ;)



6月8日(金)

豊中市シルバー人材センターに ヒアリングに行きました！

豊山ゼミ Eチーム



2012年6月7日(木)に豊中市シルバー人材センターにヒアリングに行ってきました。

女性会員獲得のために女性部会についてのヒアリングを行い、たくさんの質問をさせていただきました！豊中市シルバー人材センターの方々ありがとうございます！

左下の写真は、布小物講習会の作品と開催予定の編み物教室の作品です。これらの作品は、販売もされています！



ヒアリング風景



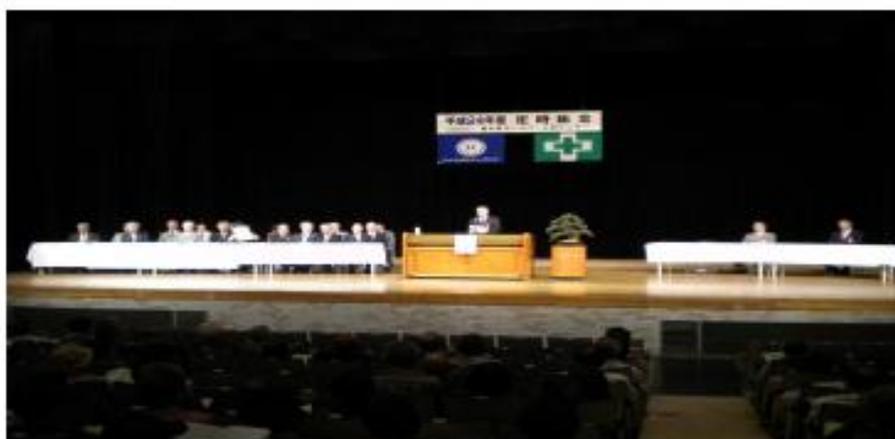
定時総会に行ってきました！

6月7日(木) 中野、久岡、森田、植田、土居



シルバー人材センターの定時総会があり、東大阪市市民会館に行きました。左の写真は総会に自転車などで来ていただいた会員の方を駐輪場に誘導しているところです。当日は晴れていたこともあり、訪れやすかったのではないのでしょうか。

右の写真は受付での写真です。受付は女子のメンバーにやってもりました。会員数1582名のうち144名のかたが参加されました。以前より人数が減ったそうです。その理由として参加の記念品がなくなったからではないかということらしいです。



6月19日(火)

東大阪市四条リージョンセンターに ヒアリングに行って来ました!!

Gチーム



2012年6月14日(木)、東大阪市の四条リージョンセンターでヒアリングを行ってきました。

私達、Gチームは、高齢者の就業開拓についてのヒアリングと質問をさせていただきました。

就業開拓員の清田さん、シルバー人材センターの方々ありがとうございました！！

左下の写真は、シルバー人材センターの方の就業中の姿です。

右下の写真は、ヒアリングの風景です。





中間報告会

In シルバー人材センター

豊山ゼミ



2012年7月5日(木)に東大阪市シルバー人材センターへ中間報告に行きました！2回生、新3回生では初めての大きなプレゼンの場だったと思います！

去年もしていた私たちよりもはるかに出来がよく目が点状態でした。(・ω・´)

2回生のH~Jチーム・3回生のE~Gチームの各班が担当した課題に4月から取り組んできたことの報告と今後へと向けた提言発表しセンターの方々に返答して下さる流れでした。

無題課題の提言もあったことでしょうか。私たちにもわかりやすく提言への返答をしてください、これからの課題の方向性ももっと厳密になっていきました。

また10月の商大の学祭『御厨祭』にて模擬店の出店と最終報告会があります(´ ˘ ˘ ´)

去年から模擬店出店を行っているのですが、今年は去年好評だった『おばあちゃんのとん汁』と会員のおじいちゃんおばあちゃんが作った物の販売を計画しています！

考えただけで忙しさがソッとします(笑)でも、それと同時にうきうきします！後輩たちに「すごいやん先輩！さすが！」と褒めてもらうことを目標とします(笑)ここまでたくさんの方に支えられてきました。

このゼミ活動で楽しい学生生活を送っています。面倒だと思うことも忙しさも増しますが、それよりも貴重な経験と能力が身につけていると思います！



ゼミです☆
めっちゃ楽しい



箕面市シルバー人材センターに ヒアリングに行ってきました！ すごかった！

豊山ゼミ 1チーム、小石原・松田・渡邊



私たち1チームは、2012年7月12日（木）に、ホームページに仕事紹介のビデオを載せている箕面市シルバー人材センターを先進事例と考え訪問しました。

ヒアリングをするなかで、ビデオだけでなく、訪問介護事業、気軽にサポート隊事業、緑のリサイクル事業、互助会による会員優待割引施設の拡大など、多くの事業を着実に進めていることがわかりました。私たちの質問に答えて下さ



った白川総務課長は、お忙しいなか丁寧に應對してくださいました。いただいた情報を大切に、しっかりと活用していかなければ、と考えています。



当日、対応していただいた白川総務課長。本当にありがとうございました。

平成24年10月6日

試食会

豊山ゼミ

Fチーム 越智

2012年10月3日(水) 私たちは御厨祭で出店する豚汁の試食会を東大阪市シルバー人材センターのキッチンを借りて行いました。



できあがった豚汁は、煮込む時間が短かったので少し硬い野菜もありましたが、理事の方や職員さん、おばあちゃんたちと一緒においしくいただきました。本番では、もっとおいしい豚汁を用意して待っていますので、どうぞ来店ください。



ラグビーの町東大阪市

<ホーム>

【仕事の発注】
(ご依頼)

発注にあたり

発注の流れ

お受けする仕事

単価表

【会員 入会】

シルバー人材
センターとは

入会方法

センターの場所は

【シルバー情報】

事務局便り

商大「御厨祭」に参加します

『商大 御厨祭』開催日時
10月26日(金)～10月28日(日)の3日間、
午前11時～午後4時

当センターをフィールドワークとして取り上げておられる豊山ゼミと
共同参加することにより
当センターの広報活動等を実施することになりました。

昨年度は当センター同好会の「手芸」、「手描き友禅」等の皆さんによる
「豚汁」の材料の買出しから、作り方の指導販売に協力し、
『商大 御厨祭』1番の売り上げに貢献しました。

今年は商大のご好意により、テント一張り分のブースを借り、
当センターのチラシ等を配布し事業をPRすることや、
手作り作品を展示即売することも可能になりました。

当センターの活動を広く市民の皆様にご覧いただくために参加します。

会員の皆様のご理解とご協力をお願いします

御厨祭 & 学内中間報告会

豊山ゼミ

御厨祭

10月26・27・28日に行われた御厨祭で豊山ゼミでは、東大阪市シルバー人材センターの方々に協力していただいて、去年に引き続き「おばあちゃんのとん汁」を出店しました。

買っていただいたお客様からは、おいしかったという声をたくさんいただきました。

同時にその隣でシルバーの会員方が作った小物の販売も行いました。模擬店の順位を決める模擬店ランキングでは、「あげたこ」「ホルモン焼きうどん」に次ぐ第3位を獲得しました。皆様ありがとうございます！



学内中間報告会

御厨祭2日目の中間報告会では、各ゼミが活動内容の発表と、ポスターでの説明を行いました。今年からは発表の出来を評価する投票があり、豊山ゼミは2位に選ばれました。

興味をもってくれた経済学の皆さん、来年ぜひ豊山ゼミに入って一緒に活動しましょう！！

豊山ゼミナール 2012年12月10日

HP・『燻』編集会議

2012年11月14日・20日・30日に京大阪市シルバー人材センターの方々と、ホームページとシルバーの広報誌『燻』の編集会議を行いました。14日と30日はシルバー人材センターに行って編集会議に参加しました。20日はシルバーの方々が大阪商業大学に來られて、大学のプロジェクトルームで編集会議を行いました。14日と30日は主に『燻』のおかしな所や直したほうが良いところを話し合いました。20日には主にシルバーのホームページについて話し合いました。



上の写真は私たち学生がホームページの編集した部分をシルバーの方々に説明している様子です。シルバーの方々も真剣に聞いてくれていろいろな意見を言っていました。

下の写真は豊山先生が最後の締めをしているところです。『燻』の編集はもう終わりましたが、シルバー人材センターのホームページはまだまだ変えるところがあるので、これからも豊山ゼミではシルバーの方々と一緒に良いホームページになるように頑張ります。



2013年2月6日(火)

シルバー人材センターで HP の最終打ち合わせをしました！



私たち豊山ゼミ I チームと J チームは、2013年1月18日(金)に、現段階のHP進行状況の説明と HP 原稿の最終確認のためにシルバー人材センターに行ってきました！

半年以上前から長い期間をかけて作ってきたシルバー人材センターHPの案をシルバーの平山委員長や植附専務などHPに関わっている方に最終確認してもらいました。



新しいHPの原稿において、ページ横にメニューボタンをつける、地図の表記や位置など細かい所で訂正がありましたが、原稿を見てくれたみなさんから高評価を頂きました！

今後はこの原稿を元にホームページビルダーを使って、シルバー人材センターの方と話し合いながらHPを作っていきます！



6. メンバーの紹介

Hチーム

大内 泰治

私がこのゼミに入って感じたことは仕事をするうえで大事なことは段取りや計画をしっかりと立てることで上手くいくことが決まるということでした。焦ってしたことは小さいミスが後から出てきてしまい修正に時間がかかってしまうことが多かったので3回生になったら、計画性をしっかり持ってやっていきたいと思います。

和木 裕司

私は豊山ゼミに入り、フィールドワークゼミだからこそ出来る経験を沢山しました。特に学生運営委員は貴重な体験でした。フィールドワークは大変なことも多いですが、その分充実した一年だったと思います。来年度は後輩もできるので頼れる先輩として活動していきたいと思います。

久間 淳史

私はこの一年間、豊山ゼミで色々な活動や物事を体験して、経験を積んできたと思っています。そのなかでも最終報告会での発表は凄く良い経験になりました。今後も迷惑をかけるとは思いますが、この経験を活かしてこれからも頑張っていきたいと思っています。

島上 雄貴

豊山ゼミではプレゼンする機会が豊富にあったということもあり、プレゼン能力が向上したと思います。フィールドワークゼミ2年目は、いろんな行事に積極的に参加しチームのために一生懸命頑張ります！！

Iチーム

小石原 光

私は豊山ゼミを選び、この一年間で様々な事を学び、同年代の大学生の中でもめったにできない体験や経験を積んできたと思っています。例えば大人数の前で発表した中間報告会、箕面市でのヒアリング、またセンターを通しての一般の方々とのふれあい、様々な会議、話し合いなど貴重な経験をさせていただきました。迷惑をかけたり、いろいろなことがありましたが、Iチームの仲間と和気あいあいと精一杯活動をしていきたいと思っています。

す。

松田 圭吾

一年間フィールドワークゼミをやってきて、自分から進んで物事を考えたり、意見を出したりできるようになったと思います。迷惑もかけるとはありますが、これからも頑張っていきたいです。

渡辺 亮太

この一年間フィールドワークを通して、様々な方に迷惑をかけたと思います。それでも自分ができることを考えに考えてここまで来ました。今後も迷惑をかけ続けるとは思いますが、なんとかこの一年の経験を活かして今後も自分にできる事や新しいことをしていきたいです。

中野 翔太

私はこの一年間、シルバー人材センターの方々とのいろんな活動を通して、責任を果たすことの大切さを学びました。パソコンなどは苦手ですが、努力次第で苦手は克服できるので、来年は頑張ります。

Jチーム

土居紗希

この一年間チームのリーダーとして活動させてもらって、今まで経験したことない体験をたくさんしました。リーダーとしてなかなか上手くチームの皆の力を引き出すことができなかつたのが一番の反省点です。来年はそこを改善して頑張りたいです。

森田優介

私は、この一年間で、責任を果たす事の重さ、言葉と現実の違い、先輩方の評価を引き継ぐ事、社会人としての言葉遣いを学びました。学ぶだけでなくしっかりと活かせるようにします。しっかりと後輩に引き継ぎできるようにしたいです。

植田寧々

フィールドワークのゼミを選び、シルバー人材センターの方々といろいろな活動を通して社会の事を知れ一個人の責任感の大切さを学ぶ事が出来ました。自分達が活動してきた事を発表する事の大変さなど、この一年で学べた事を今後に活かしたいと思います。

瀧埜将大

私は会報や、HP 編集担当のチームの中で、発表を主にしています。自分はパソコン等の機械類が苦手です。その分発表は自分からやろうと思っています。来年度からは、苦手分野を克服しつつ、今年度の学びを他の人にも教えられるようになりたいです。

